

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

記

1 会議名 令和5年度 岐阜県立土岐商業高等学校 第1回 学校運営協議会

2 開催日時 令和5年 6月 23日（金） 13:30～15:30

3 開催場所 岐阜県立土岐商業高等学校 会議室

4 参加者 学校運営協議会委員

竹 下 啓 太	あいちビジネス専門学校 校長
水 野 隆 夫	土岐口財産区 議長
藤 田 裕 子	藤田陶器株式会社 代表取締役
佐 野 栄 子	土岐地区更生保護女性会 理事
青 木 茂 久	東海旅客鉄道株式会社土岐市駅 駅長（欠席）
荻 曾 千 恵	土岐商業高等学校育友会 母親委員長（欠席）

学 校 側

山 内 志 文	校 長
吉 田 孝 夫	事 務 長
中 澤 正 仁	教 頭
寺 澤 喜 孝	教 務 部 長
近 藤 大 貴	生徒指導部長
千 葉 かをり	進路指導部長
伊 藤 陽 介	商 業 部 長
松 永 紗 弥	記 録

5 会議の概要

（1）校長の挨拶

・新型コロナウイルスによる行動制限が解除され、これまで制限されていた学校行事の大半が本年度は行える見込みである。10月に実施予定の南陵祭では、キッチンカーを呼んだり、保護者の参加を呼び掛けたりと、活発な学校祭となるよう計画中である。

（2）自己紹介

・各委員、教員が自己紹介を行った。

（3）学校運営協議会趣旨説明（教頭）

・「岐阜県立土岐商業高等学校運営協議会会則」について説明して、委員の方々に同意をいただいた。
学校運営協議会を通して、地域の方やPTAの方から様々な意見をいただき、学校運営の計画に反映させていきたい。皆様の忌憚のないご意見をいただきたい。

（4）学校運営、学校組織、教育課程の説明（校長・教頭）

- ・令和5年度の教育目標ならびに教育の重点について説明し、本年度のスローガン“ 完遂” について具体的な取り組みなどを説明した。
スローガンは各教室に掲げており、生徒の目に入るようにし、意識を高めている。
- ・令和5年度の学校運営機構ならびに校内組織について説明をした。
- ・学校の雰囲気は少子化の影響で人数は減ってはいるものの、活気は以前と変わっていない。

(5) ICT等を活用した授業の見学

- ・岐阜県は全国に先駆けてICT機器を導入した。ほとんどの授業でプロジェクター等を用いて、授業を行っている。数年前では考えられないことが実現しており、ICT機器を利用しやすい環境が整っていることで教員の負担も減り、授業の中にICT機器を取り入れることが容易になってきた。
- ・発展途上ではあるが、これよりICT機器を用いた授業をぜひ参観していただきたい。
- ・5限目の英語、簿記、総合実践を参観した。

(6) 各分掌から令和5年度重点事項等の説明

①教務部

- ・「確かな学力」の育成に重点を置いて様々な取り組みを行う。
- ・ICT 機器を効果的に活用し、授業の実践と生徒理解の向上に努めることを目標にしている。各教科での ICT 活用の状況を適宜調査し検証したうえで、生徒アンケートを実施し、「ICT を活用した授業内容についての理解度」の肯定的回答が88%以上になることを目標としている。
- ・本年度から考査期間の学習時間調査を行っている。前期中間考査では、学習時間と考査の得点が比例しており、今後も重点的に取り組んでいきたい。

②生徒指導部

- ・「遅刻防止」「挨拶」「身だしなみ」に重点を置き、1年間取り組んでいる。
- ・交通安全に関して、自転車での事故の事故件数0を目指しているが、既に本年度事故が起きてしまっている。
- ・通学路の草刈りをした6月の交通事故が0になったため、継続していきたい。
- ・教育相談について、生徒の様子や人間関係の実態を的確につかむとともに、保護者と連携して生徒を見守る。
- ・部活動について、サッカー部が上位入賞、女子バスケが5位入賞、珠算部、ワープロ部、情報処理研究部が全国大会出場を決めるなどの成果を残している。

③進路指導部

- ・「自立・自律」「向上心」を柱に据え、主体的に進路を選択し、実現することができる力を育成することを目標とする。
- ・卒業生と語る会では、卒業生の方と活発な意見交流を行うことができ、生徒の心に残る会となった。
- ・本年度は情報提供を迅速に行いたい。求人票を生徒がタブレットから見るができるようにし、タイムラグなく迅速に求人票を共有することを目指す。
- ・進路ノートやキャリアパスポートの活用にも力を入れたい。
- ・令和4年度の進路実績に関して、就職者が50名、進学者が121名、浪人が1名と、全生徒が納得のいく進路選択を行うことができた。現在の3年生の進路希望は就職が30%弱、進学が70%強を占めている。指定校だけではなく、それ以外のAOや公募制入試の利用にも力を入れていきたい。

④商業部

- ・今までの流れに加えて、新しい流れを取り入れていくことを大切にしたい。
- ・商業部では資格取得に加え、その資格を実践に移してより深い学びとなるよう、地域連携にも力を入れていく。
- ・昨年度の成果としては、全商1級を81名が取得したが、過年度よりも減少している。原因としては、新型コロナウイルスの影響による受験機会の減少が挙げられるが、本年度は昨年度よりも良い結果が残

せるよう注力したい。

- ・課題としては、1年生全員が日商簿記3級を受験する取り組みを行ったが、思うような結果が出なかったことが挙げられる。全商よりも日商という方向性は間違っていなかったが、結果が出なかったことが課題である。今後は、ビジネス基礎で読解力や実社会に即した文面を読み解く力をつけることができるよう、探求学習にも力を入れていきたい。
- ・もう一つの課題として、商業科内の環境整備に努めたい。商業科内での情報共有を頻繁に行い、生徒が落ち着いて学習することができる環境整備をチームとして対応できるよう努める所存である。

(7) 地域連携による活力ある学校を目指して（商業部）

- ・本校商業科が取り組んでいる全国商業高等学校協会主催の検定1級取得に関しては県内トップクラスの実績である。
- ・地域連携に関して、令和4年度「岐阜県ふるさと教育表彰」において優秀賞をいただいた。
- ・アプリケーションコースでは、昨年度は情報発信で人と人が“繋がる、広がる、深まる”をコンセプトに、地元の飲食店と陶器会社と協力して、カレーの販売を行った。生徒が試行錯誤し、より深い体験学習となった。
- ・システム管理コースでは、地域観光をテーマに据え、東農地区の旅行プランを計画した。クイズの作成やAR技術の活用など、その場所に行ってみたいと思わせるものを作ることができた。また、ゲームアプリなどの作成も行った。
- ・課題研究の商品開発（サイダーのラベル）を通して、地域とのつながりを作り、地元の施設である「よりみち温泉」と協力し、サイダーを題材としたフォトコンテストなどを本年も開催する予定である。本年度は7月からの開始を予定している。
- ・本年度も昨年度に引き続き地元企業や各種団体とタイアップして、地場産業である陶磁器産業の活性化に生徒と共に果敢に挑戦していきたい。その一環として秋に行われる「オータムフェア」（陶器市）に参加を予定している。
- ・また、ビジネス情報科が取り組む「AR技術の開発」やビジネス科が取り組む「土岐商SHOP」にも創意工夫を凝らし生徒自らが考え実践できる体制を充実していく。
- ・他校種間での交流にも力を入れていきたい。
- ・「資格取得」と「地域連携」で愛される「地域社会人の育成」を目指して、本年度も活動を続けていく。

(8) 委員の方々からのご感想・ご意見等

意見1

昨年度、システム管理コースの地域観光チームが行った旅行プランの提案について、企業と生徒が手を合わせた活動を行ってはどうか。旅行プラン概要を企業のイベントページに掲載してもらったり、SNSに抵抗がない生徒の力を借りてPRを行ったりと、両者の強みを生かした地域連携をしてみてもどうか。

意見2

去年10月に年間集客500万人を目標としたイオンモール土岐が開業したり、年間集客数が750万人ほどであるアウトレットがあったりと、土岐市西部にはたくさんの人が訪れている。これを生かし、土岐市の魅力をアピールしてはどうか。

→土岐商サイダーにQRコードを付け、土岐市の魅力を伝えるサイトへと飛ぶような仕掛けをしている。

また、本年度は7月から土岐商サイダーの販売を開始し、フォトコンテストを実施予定である。イオンモールやアウトレットなど、土岐市内の様々な場所で販売できないか模索中である。

意見3

人前で話すことが苦手な生徒が多い中で、発表する機会を多くて提供している点は素晴らしいと感じる。交通事故を無くしてほしい。誰もケガしないような指導を徹底してほしい。

意見 4

ICT を駆使している授業を見て感動した。教員が座って前を見て授業をする形態に驚いた。これは教員の働き方改革にもつながり、いいことだと感じた。

(9) 校長の挨拶

「教育指導の重点及び学校経営計画」ならびに学校運営（学校運営機構）に同意を得た。今後は掲げた「具体的取組、方策」に従い職務を遂行し、「達成度の判断、判定基準あるいは評価指標」に基づいた達成度の判断と評価を実施する。

また、本日頂いた意見について直ちに着手し、次回ご報告できるように取り組みます。安心安全な学校を目指して、教員も生徒の手本となるように行動をする。本年度は教育実習生も2名おり、本校卒業生にも教員を目指してくれている卒業生がおります。大切に育てます。

なお、働き方改革 2023 の指針に従い職員の働き方には一層工夫を凝らし過度な負担がかからないように注視するとともに、必要な組織改革は年度途中であっても積極的に実施する。会計年度任用職員として部活動指導員をはじめ業務アシスタントなど多数の非常勤講師を配置しており、職務の範囲には制限がありますが、多方面にわたって援助をいただいております。職員の職務軽減につながっている。

さらに見直しを図り、健全で明るい職場環境を目指します。今後ともご意見ご助言をお願いいたします。

6 まとめ

- ・第1回学校運営協議会において、「教育指導の重点及び学校経営計画」ならびに学校運営（学校運営機構）について承認を得られた。
- ・ICTを活用した授業参観を実施し、教育の現場と現状を見学した。
- ・各分掌から本年度の重点事項等の説明をした。
- ・本校の地域連携についての実績報告と今後の取り組みについて説明した。
- ・委員から感想ならびに意見を得て、各担当者から説明および今後の方針について述べた。
- ・今後は意見等に検討を重ね、実行に移す。
- ・第2回は10月12日木曜日、第3回は2月上旬を予定。